

教育・文化関係

<p>件 名</p>	<p>文化センターの縮小・廃止について</p>
<p>内 容</p>	<p>文化センターの機能について、縮小、廃止の話があるとのこと。 特に図書館・プラネタリウムについて心配しております。 図書館は私もよく使いますが、現状でも充実しているとはいいいがたいです。 白井の図書館としてどのようなジャンルを増やすか、メリハリをつけていただきたい。 このジャンルではさすがと言われるような図書館を目指してほしい。 プラネタリウムは経費が掛かるのはよくわかります。 しかし、特に小学生に利用していただきたい、幼い頃に宇宙への思いと感動を知ってほしい、 幼い子供に夢を与えるには最適な設備です。 経費などの問題は重々理解しますが、ほかの町の住民からも小さい時に白井のプラネタリウムを見に行った、などの話を聞くこともあります。 プラネタリウムは白井の誇りでもあります。 経費を考えると問題山積みでしょう。 しかし文化都市としての白井市の将来を考えた時、存続しさらに発展させるための知恵を絞らなければ、文化都市としての白井市はなくなるだけでしょう。 特に、図書館・プラネタリウムについては、ぜひ再考をお願いし期待しております。</p>
<p>回 答</p>	<p>文化センターは、市の文化・芸術活動や、生涯学習の拠点として多くの役割を担っておりますが、平成6年の開館以来、30年近くが経過し、施設全体の老朽化が進み、施設、設備とも改修が必要な状況となっております。また、施設等の改修には、多額の費用が必要な状況にあります。 このような状況の中、市では、「文化センターのあり方検討委員会」を設置し、文化センターの今後のあり方及び運営方法等の審議を行ってきたところですが、少子高齢化や人口減少など、今後の社会情勢も見据え、現状維持だけではなく規模の縮小や廃止も含めた議論がなされました。 令和5年3月に提言書の提出が教育委員会にあり、今後、提出された提言書を踏まえ、市で方針を決める予定となっております。 いただいた御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>